

【定時制】令和7年度 第3学期始業式 校長式辞

皆さん、こんばんは。皆さん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

冬休みを終え、こうして再び皆さんと顔を合わせることができ、大変うれしく思います。仕事や家庭のことなど、それぞれの生活を大切にしながら、意味のある冬休みを過ごしたことと思います。

さて、3学期は一年の中で最も短い学期ですが、最も「次につながる」学期です。定時制で学ぶ皆さんにとって、この学期は、これまでの歩みを振り返り、次の一歩へとつなげていく大切な節目の時間でもあります。

まず、4年生の皆さん。いよいよ卒業が近づいてきました。仕事や家庭、さまざまな事情を抱えながらも、学び続けてきた皆さんの姿は、本当に立派なものです。簡単ではない日々の中で積み重ねてきた努力は、これからの人生を支える大きな力となります。

そして、3月2日には卒業式があります。その日は、定時制での学びを終え、新たな道へと踏み出す節目です。残された時間を大切に、自分らしい形で高校生活を締めくくり、胸を張って卒業の日を迎えてください。

次に、2・3年生の皆さん。皆さんは、これから定時制を支える中心的な存在となっていきます。年齢や経験の異なる仲間とともに学ぶ定時制だからこそ、互いを認め合い、支え合う姿勢が学校の雰囲気をつくれます。自分の経験を生かしながら、仲間とともに前に進んでいくことを期待しています。

最後に、1年生の皆さん。入学してからここまで、新しい環境の中で戸惑うことも多かったと思います。それでも一日一日、学校に足を運び、学びを続けてきたこと自体が、大きな成長です。これからは、後から入ってくる仲間や後輩を迎える立場にもなっていきます。自分のペースを大切にしながら、少しずつ学校の中での役割を見つけていってください。

本校が掲げる
SPARK for our Well-being !
は、「自ら考え、判断し、行動し、困難に負けずチャレンジし続ける力」を育てることを目指しています。

定時制での学びは、決して同じ歩幅ではありません。だからこそ、一人一人が『自分のペース』で前に進み、ときには立ち止まりながらも学び続けることに、大きな価値があります。

3学期は、これまでの経験を振り返り、自分の歩みを確かめ、次へとつなげる時間です。

3学期が、皆さんにとって次のステージへとつながる、実りある学期となることを願っています。今年も、ともに学び、ともに歩んでいきましょう。以上で、始業式のあいさつとします。